

| | |
|-----|----------|
| 活動名 | ふなっこ未来大学 |
|-----|----------|

| | |
|---------|------------|
| 貢献・連携類型 | 1. 地域連携・協力 |
|---------|------------|

| | | | | | | |
|-----|---------|----|----|----|----|-------|
| 報告者 | 航空宇宙工学科 | 学科 | 職位 | 教授 | 氏名 | 高橋 賢一 |
|-----|---------|----|----|----|----|-------|

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

「ふなっこ未来大学」とは、船橋市が市内の理系大学と協力して市内在住の子どもたちに実験教室などの機会を提供する事業のことです。日本大学理工学部は、令和5年より船橋市と包括連携協定を結んでおり、その協定に基づいて本事業に協力することとなりました。

本活動は、地域の教育に貢献し、大学での教育・研究活動の理解を促進することを目的としています。また、理工学部へ興味を持ってもらい、本学部への入学希望者の増加を期待しています。

今回は定員を増やし70名とし、市内在住の小学校4～6年生を対象に、以下の講座を実施しました。

- ① ロケットラボ2025～あつまれ未来の科学者たち!～
- ② 未来探査ロボット作成キャンプ～きみのロボが未来を走る～
- ③ 未来を開く夢の乗り物「宇宙エレベーター」

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

募集の段階で参加希望者が定員を超えましたので、増員して受け入れました。本学部は本事業に昨年から参画しており、前年に続いての好評を得ています。

また、本学部学生が積極的に参加したことで、学生と地域住民（小学生及びその保護者）との新たな交流の場が生まれ、学生にとっても大きな成長の機会となりました。

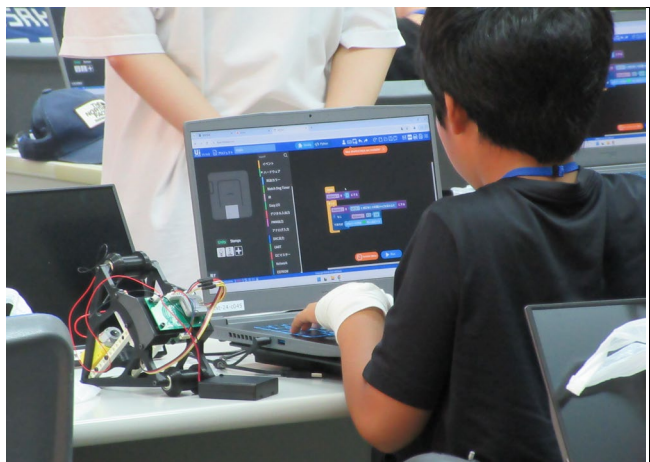
また、船橋市からは来年度の開催も依頼され、引き続き興味ある内容の講座を提供する予定です。

| | |
|--------|--|
| 対象・相手先 | 対象：船橋市在住の 小学4～6年生の77名 相手先：船橋市教育委員会 |
|--------|--|

| | |
|-------------------|----------------------|
| 協定書・依頼の有無（具体的に記入） | 船橋市と日本大学理工学部との包括連携協定 |
|-------------------|----------------------|

| | |
|------|----------------------------|
| 実施日時 | 令和6年9月19日～9月20日 10時～16時 |
|------|----------------------------|

| | |
|----|----------------------------------|
| 場所 | 理工学部船橋校舎 12・13号館教室 交通総合試験路 |
|----|----------------------------------|



本学からの参加者
 航空宇宙工学科 教授 高橋 賢一、助教 大塚 賢哉
 未来博士工房・日大ロケット研究会の学生の14名
 未来博士工房・衛星開発プロジェクトの学生の6名
 未来博士工房・ロボット工房の学生の6名

